



学校から望む五老ヶ岳スカイタワー

『感染予防対策を講じながら取り組む5月』

気温も高くなっはきました、雨天の日も続いたりして、天候が安定しない5月の始まりとなりました。さわやかな5月に戻ることを願っているところではありますが、保護者、地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、生徒たちは新年度を迎え、ほど良い緊張感を持ち、日々の学習活動や部活動にも取り組んでいます。各学級の係や役割も決まり、それぞれが少しずつ自分のペースをつかみかけてきているところです。4月24日には感染予防対策を取りながらではありましたが、2年ぶりに授業参観及びPTA総会を実施することができました。ご来校いただきました保護者の皆様にお礼申し上げます。また、その際、3年生の総合的な学習の時間に生徒とともに活動に参加いただきました3年生保護者の皆様、ありがとうございました。

全国的に新型コロナウイルス感染者数は高止まりで、収束の糸口もなかなか見つからない状況ではありますが、本年度は5月18日から2泊3日で、3年生が修学旅行に出発いたします。例年ですと、九州方面で計画しておりましたが、コロナ禍の影響により、平和学習の実施も可能で、距離的にもう少し近いところをと考えて、広島方面への旅行に変更しております。そのため、4月21日には事前の平和学習として、長崎原爆資料館にある「ふりそでの少女像」の製作者でもあられます余江勝彦先生に來校いただき平和学習を実施いたしました。広島・長崎に原子爆弾が投下された経緯やそれまでに47か所に模擬爆弾が投下されており、それに伴った空襲が1945年7月29日に舞鶴でもあり、多くの被害が出たことなど、生徒たちにとって、初めて学ぶ内容もお話しいただき平和について考えることができました。数学や物理、化学の発展、コンピュータの進歩は大きく戦争と関わっていることが多くあり、平和とは何かを考える中で、進歩したスマートフォンを人を傷つけるような行為に使っている現在の情報モラルの問題にも触れていただき、講話いただきました。まずは、無事に修学旅行から帰ってきてほしいと最後にまとめていただき、生徒も教職員も改めて感染予防意識を高め修学旅行を実施しなければならないと感じました。

新型コロナウイルス感染症予防対策について、専門家のお話の中でも、「マスクを外すのは新型コロナウイルスが終息したとき」という指摘もあり、国内での、マスクを着用するといった公衆衛生の意識の高さの効果が評価され、「感染の流れ、疫学的な調査を見て、終息がわかった時点で初めてマスクを外してよい。」と言われております。コロナウイルスとの戦いに必ず終わりが来ることを信じ、今後もPTA本部役員様とも連携しながら、家庭・学校・地域がそれぞれの果たす役割を認識し、子どもたちの健全育成に向け、よりよい環境づくりを目指して参りますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

校長 荒賀 洋

「いじめ防止と早期発見」についてのお願い

平成23年10月、滋賀県で起こったいじめによる自殺をきっかけに、平成25年9月、「いじめ防止対策推進法」が施行されました。「いじめ」は、どの子供にも起こりうるもので、誰もが被害者にも加害者にもなります。近年はスマホ等の通信機器の発達により「ネットいじめ」という大人が気付にくいものが主流になってきました。学校では、いじめ防止対策委員会の実施やいじめに関する職員研修、定期的な生徒交流を行い、生徒の変化に気づき、組織で取り組む体制を整えていきます。ご家庭や地域でも、お子様の様子がちょっとおかしいとか、誰かが困っているのを聞いたとか、少しの変化を見逃さず、学校へご連絡いただけるとありがたいです。(働き方改革の一環で、市教委の指導のもと原則夜6時以降の電話には対応できません。何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。)

また、大型連休の後や夏休みなどの長期休業の後、登校しぶりがあったり、人間関係の変化があったりします。家庭・学校・地域で注意して見ていきましょう。

和田中学校HPに「学校いじめ防止基本方針」とともに、「いじめ防止対策推進法」「いじめとは、何か」「いじめ発見シート」を掲載しておりますので、ご活用ください。

